

研究業績リスト

(2013年10月1日～2014年9月30日)

大学教育開発センター

(1) 著書

- ・花潤馨也：「移動するシングル女性—コモロ諸島における越境と出産の選択」, 椎野若菜編『境界を生きるシングルたち』(シングルの人類学1), 人文書院, 227-252, 2014.3.
- ・花潤馨也：「トランスナショナルな家族の縁—コモロ人移民女性と子供たちによる家族の再編」, 『シングルのつなぐ縁』(シングルの人類学2), 人文書院, 179-202, 2014.4.
- ・花潤馨也：「伝統宗教 Traditional Religion」, 『アフリカ学事典』, 昭和堂, 12-15, 2014.6.
- ・小澤次郎：「『柔らかな頬』—その特異性の問題—」, 現代女性作家読本研究会編『現代女性作家読本17 桐野夏生』, 鼎書房, 33-39, 2013.11.
- ・小澤次郎：「『魔女』(旧題『血と聖』)—『血と聖』から『魔女』へ」, 現代女性作家読本研究会編『現代女性作家読本18 坂東眞砂子』, 鼎書房, 94-97, 2014.6.

(2) 論文

- ・小澤次郎：「金子みすゞ『琅玕集』におけるクリスティーナ・ロセッティ：'Confluents'と竹友藻風訳「會流」」, 北海道医療大学人間基礎科学論集39, B1-B8, 2013.11.
- ・櫻井潤：「住民自治を基盤とする地域医療システムと自治体病院の再編：北海道釧路市の救急医療システムの改革と市立釧路総合病院の経営再建」, 財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会公募研究シリーズ, 33号, 1-46, 2013.11.

(3) その他論文

- ・花潤馨也：「アンダの花嫁—コモロにおける女性と結婚」, アジ研ワールド・トレンドNo.226, 36-39, 2014.8.
- ・小澤次郎：「読むことと考えること—『方法序説』」, 北海道医療大学看護福祉学部紀要20, 21-28, 2013.12.
- ・櫻井潤：「地元組織の主導性に基づく北海道の地域医療システム開発に関する実証的研究：JA北海道厚生連の病院運営事業を事例として」, 一般財団法人北海道開発協会平成25年度研究助成報告書, 1-27, 2014.3.

- ・薄井明：「ゴフマンの『隠れジンメリアン』疑惑—従来のゴフマン理解の見直し—」, 北海道医療大学看護福祉学部紀要20, 7-20, 2013.12.

(4) 学会発表

- ・花潤馨也：「村の王と大人になれない者たち—コモロ諸島・ンガジジャ島における年齢と階梯制」, 日本ナイル・エチオピア学会・第23回学術大会・公開シンポジウム「アフリカから老いの力を学ぶ—老年文化の多様性—」(広島市まちづくり市民交流プラザ, 広島市), 2014.4.

(5) 講演

- ・森田勲：石狩市筋力アップ教室(1)～(12), 石狩市, 2013.11.～2014.2.
- ・森田勲：石狩市健康体力づくり講演会, 2013.12.11.
- ・森田勲：石狩管内スポーツ推進委員協議会研修「インディアカの実践と運動強度」, 2013.12.7.
- ・森田勲：江別市スポーツ振興財団「高齢者の体力づくりについて」, 2014.3.

臨床福祉学科

<臨床福祉政策学>

教授：鈴木 幸雄, 石川 秀也, 志渡 晃一,
志水 幸
講師：佐藤 園美, 奥田かおり
助教：川勾亜紀奈, 近藤 尚也

<医療福祉臨床学>

教授：向谷地生良, 白石 淳, 大友 芳恵
准教授：長谷川 聡
講師：志水 朱, 今野多美子, 福岡 麻紀,
巻 康宏
助教：高橋 由紀, 池森 康裕

(1) 著書

- 1) 志水幸(編集委員会委員)：福祉小六法2014年版,
(株)みらい, 2014年4月.
- 2) 志水幸(編集委員会委員)：保育福祉小六法2014年版,
(株)みらい, 2014年4月.

- 3) 池森康裕：川村匡由・島津淳・木下武徳・小嶋章吾
編著 現代の社会福祉士養成シリーズ 社会保障
3版 久美出版 第21回担当. 2014/3/28
- (2) 論文
 - 1) 志水幸：保健医療福祉系大学における教養教育の問題（4）-多ルート問題と大学の独立性について考える. 大学教育学会：大学教育学会誌, 第35巻（第2号）, 57-60頁, 2013年11月.
 - 2) 志水幸：社会福祉学教育における社会福祉哲学の位相, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, No20, 41-52, 2013年12月.
 - 3) 池森康裕：老人クラブ参加者の性別・年齢別の社会参加状況と社会活動への意向. 北海道医療大学看護福祉学部学会誌 2014年, 10（1）, 15-22. 2014年3月.
 - 4) 近藤尚也, 安井友康：重度肢体不自由者のスポーツ参加と「みるスポーツ」, 北海道教育大学紀要（教育科学編）, 65（1）, 403-412, 2014年8月
- (3) その他論文
 - 1) 志水幸：学会探訪 社会福祉・医療保障・所得保障・雇用等を俯瞰する包括的視座-日本社会保障法学会. 日本社会福祉教育学会ニュースレター, No20, 10-11, 2014年1月.
 - 2) 志水幸：巻頭言 看護福祉学のパースペクティブ, 北海道医療大学看護福祉学会誌, 第10号, 1頁, 2014年3月.
- (4) 学会発表
 - 1) 志水幸：日本社会福祉教育学会 第4回春季研究集会シンポジウム（企画・コーディネーター）. 2014年2月, 東京・大妻女子大学.
 - 2) 志水幸：大学教育学会 第36回大会 ラウンドテーブル（コーディネーター）, 2014年5月, 愛知・名古屋大学.
 - 3) Yoko Itoh, Masanobu Yamashita, Katsumi Sugiyama, Koh Shimizu, Kayoko Takeda: Development of residential social work indicators-Establishment of a process-related indicator model at a nursing home for the elderly-JOINT WORLD CONFERENCE ON SOCIAL WORK, EDUCATION AND SOCIAL DEVELOPMENT 2014, 9-12 JULY 2014. Melbourne, Australia
 - 4) 志水幸：日本社会福祉教育学会第10回大会 シンポジウム「社会福祉士養成課程の改正について検証する（3）」シンポジスト, 2014年8月23日, 鹿児島・鹿児島国際大学.
 - 5) 志水幸：日本社会福祉教育学会第10回大会「ワールド・カフェ（人・社会・生活に関する科目：第1セッション～第3セッション）」コーディネーター, 2014年8月23日～24日, 鹿児島・鹿児島国際大学.
 - 6) Sonomi S., Ikuyoshi M., Kaori O., Toshiko Y.: How can Tojishya Kenkyu (self-directed research) deepen one's self-understanding?: Effectiveness of Tojishya Kenkyu for better understanding of self. World Conference on Social Work and Development, Melbourne, 2014 July.
 - 7) 池森康裕, 高橋由紀, 志水朱, 今野多美子：要介護高齢者の介護ニーズに関する考察-特別養護老人ホームのケアプラン調査から-. 第21回日本介護福祉教育学会大会. 札幌（京王プラザホテル札幌）2014年8月28日.
 - 8) 近藤尚也：「一般小型活動量計を使用した重症心身障害者の身体活動量測定を試み」, 第34回医療体育研究会/第17回日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第15回合同大会, 2013, 12, 宮城（東北文化学園大学）.
 - 9) 安井友康, 山本理人, 奥田知靖, 大山祐太, 近藤尚也, 谷口広明, 加藤琢也, 中道莉央：「アダプテッド体育・スポーツ国際ワークショップの成果と課題」, 第34回医療体育研究会/第17回日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第15回合同大会, 2013, 12, 宮城（東北文化学園大学）.
- (5) 講演
 - 1) 志水幸：第64回北海道社会福祉主事資格認定講習会（社会福祉行政論 講師）, 2014年6月池森康裕：当別学講座「いつまでも生き生きと暮らすために～運動機能向上の方法～」当別（当別町白樺コミュニティセンター）2014. 6. 27
 - 2) 池森康裕：カウンセリング講座3級「ボランティア概論」札幌（かでの2・7）2014. 5. 31
- (6) 社会的活動
 - 1) 志水幸：（一社）日本社会福祉学会 第3期代議員 2013年12月～現在
 - 2) 志水幸：日本社会福祉教育学会 理事2011年8月～現在（会長2014年8月24日～現在）
 - 3) 志水幸：日本ソーシャルワーク学会 理事2014年6月～現在
 - 4) 志水幸：日本ソーシャルワーク学会誌 査読委員 2014年7月1日～2016年6月末日
 - 5) 志水幸：北海道医療大学看護福祉学部学会 監事 2014年9月6日～現在
 - 6) 池森康裕：拓北・あいの里ケア施設町内会 役員

- 7) 池森康裕：北海道臨床倫理研究会 幹事
- 8) 池森康裕：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事
- 9) 池森康裕：北海道医療大学福祉・介護同窓会 理事
- 10) 池森康裕：第6期当別町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員 副委員長
- 11) 近藤尚也：北海道障害者スポーツ・健康開発研究会 事務局長

看護学科

生命基礎科学講座

教授：小林 正伸, 佐々木 重幸, 西 基

(1) 著書

- 1) 西 基：コ・メディカル用語事典 第2版, 海馬書房, 2014年3月.
- 2) 西 基：保健師国試 スキルアップブックNEO第2版, 海馬書房, 2014年3月.

(2) 論文

- 1) Goudarzi H, Iizara H, Furuhashi M, Nakazawa S, Nakane R, Liang S, Hida Y, Yanagihara K, Kubo T, Nakagawa K, Kobayashi M, Irimura T, Hamada J : Enhancement of in vitro cell motility and invasiveness of human malignant pleural mesothelioma cells through the HIF-1 α -MUC1 pathway. Cancer Lett. 339:82-92, 2013.
- 2) Ohnishi S, Maehara O, Nakagawa K, Kameya A, Otaki K, Fujita H, Higashi R, Takagi K, Asaka M, Sakamoto N, Kobayashi M, Takeda H: Hypoxia-Inducible Factors Activate CD133 Promoter through ETS Family Transcription Factors. Plos One, 20, 8, e66255, 2013.
- 3) Hiroyuki Yamada, Masao Hosokawa, Kazuo Itoh, Toshinao Takenouchi, Yoshihiro Kinoshita, Tomohiro Kikkawa, Keita Sakashita, Shion Uemura, Yasunori Nishida, Takaya Kusumi, Shigeyuki Sasaki : Diagnostic value of 18F-FDG PET/CT for lymph node metastasis of esophageal squamous cell carcinoma . Surg Today44:1258-1256, 2014.
- 4) Nishi M, Tanimura M : Neuroblastoma and leukemia after induction of maternal ovulation. J Tumor 1 (6), 50-52, 2013.
- 5) Nishi M: Mass screening for neuroblastoma necessity for rediscussion. J Tumor 1 (7), 62-65, 2013.
- 6) 西 基：2011年の放火・自殺発生状況と東日本大震災との関係の検討. 近代消防. 51 (9), 81-83,

2013.

- 7) 西 基, 三宅浩次：健康保険組合の資料より推定したメンタル不調従業員に関わる企業の経済的負担. 北方産業衛生. 49 (1), 9-12, 2013.
- 8) 上原尚紘, 志渡晃一, 西 基, 三宅浩次：女性労働者のワーク・ライフ・バランスとその関連要因. 北海道公衆衛生学雑誌, 27 : 89-96, 2013.
- 9) 西 基：医師・看護師の婚姻状況. 北海道医療大学看護福祉学部紀要. 20 : 37-40, 2013.
- 10) Nishi M: Lifestyle and cancer after the Second World War in Japan. J Tumor 2 (8), 197-201, 2014.
- 11) 西 基：男子看護学生の卒業率の推定. 北海道医療大学看護福祉学部学会誌. 10 : 3-7, 2014.
- 12) 西 基, 三宅浩次：IT企業におけるメンタルヘルスの調査. 北方産業衛生. 50 : 2-6, 2014.

(3) その他の論文

- 1) 小林正伸：呼吸器・循環器疾患で使用する薬と高野薬の注意すべき相互作用. 呼吸器・循環器達人ナース. Vol.34, 39-45, 2013.
- 2) 小林正伸：五感をフルに活用した循環器・呼吸器フィジカルアセスメント. 呼吸器・循環器達人ナース. Vol.34, 39-45, 2013.
- 3) 小林正伸：原因についてどこまで明らかになったのか. The GI Front Vol.9, 12-15, 2013.
- 4) 斎藤翔太, 太田 優, 吉永美和, 手塚美智子, 花井潤師, 高橋広夫, 宮田 淳, 長 祐子, 西 基：札幌市における神経芽細胞腫スクリーニング結果 (2012年度). 札幌市衛研年報40, 63-64, 2013.

(4) 学会発表

- 1) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Shigeyuki Sasaki. Trans-Oral Endoscopic Laryngo-Pharyngeal Surgery (シンポジウム) The 95th Annual Academy Meeting of the Taiwan Otolaryngology Society 2013/12/7, Taipei.
- 2) 佐々木 重幸：頭頸部手術における合併心疾患の評価と周術期管理 (講演), 第32回日本口腔腫瘍学会総会・第3回教育研修会, 2014/1/25, 札幌.
- 3) 西 基：IT関連企業従業員のメンタルヘルスを中心とする健康状態に関する調査. 平成24年産業保健調査研究. 2013年10月13日, 川崎市.
- 4) 西 基：IT企業におけるメンタルヘルスの調査. 北海道公衆衛生学会. 2013年11月14日, 札幌市.
- 5) 西 基：わが国における5-9歳の「副腎の悪性新生物」死亡率の推移. 第55回日本小児血液・がん学会. 2013年11月29日, 福岡市.

- 6) Nishi M : Cancer in children with intellectual disabilities ; introduction and data from the Hokkaido registry. 1 st Inter- national Symposium on Cancer in persons with intellectual Disability. Feb 6, 2014, Montpellier, France.
- 7) Nishi M : Possible racial predisposition for particular tumors in Edwards syndrome. 1 st International Symposium on Cancer in persons with intellectual Disability . Feb7, 2014, Montpellier, France.
- 8) 西 基：神経芽腫マス・スクリーニングと「副腎の悪性新生物」死亡率。第41回日本マス・スクリーニング学会。2014年8月22日，広島市。

実践基礎看護学講座

教授 平 典子，花岡眞佐子
 准教授 杉田 久子
 講師 明野 伸次，福井 純子
 助教 齊藤 美沙，新井紗樹子

(3) その他論文

- 1) 杉田久子：フランスの看護キャリア教育視察報告，北海道医療大学看護福祉学部紀要，20，83-89，2013，12.
- 2) 松田岳士，明野伸次，齊藤恭子，大野夏代，矢部和夫：熱帯植物温室の環境がもたらす高齢者の心身への効果，札幌市立大学研究論文集，8（1），3-10，2014，5.
- 3) 明野伸次：看護技術における「わざ」の解析 熟練看護師と初学者の手の使い方に焦点をあてて，科学研究費助成事業研究成果報告書，1-6，2014，6.

(4) 学会発表

- 1) 平典子，唐津ふさ，田中いずみ，鳴井ひろみ，外来がん化学療法を受けるがん患者の家族に対するグループ支援プログラムの検討，第28回日本がん看護学会学術集会，新潟県，2014，2.
- 2) Norkiko Hira,Fusa Karatsu,Izumi Tanaka,Hiromi Narui:Study on the Helpfulness of Support Groups for the Families of Outpatients Undergoing Chemotherapy for Cancer MASCC International Symposium Supportive Care in Cancer, Miami , 2014, 6.
- 3) 明野伸次，樋之津淳子：日常的な看護行為における安楽な手の使い方を可視化する試み，第1回看護理工学会学術集会，東京都，2013，10.

(5) 講演

- 1) 平典子：「事例を研究的視点でまとめるとは」，北海

道大学病院看護部3年目研修，札幌市，2014，7.

- 2) 花岡眞佐子：「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針－臨地実習に期待すること－」，北海道大学病院看護部臨地実習担当者研修会，札幌市，2014，4.

(6) 社会的活動

- 1) 平典子：日本看護研究学会 評議員
- 2) 平典子：日本看護研究学会 査読員
- 3) 平典子：日本看護科学学会 評議員
- 4) 平典子：日本がん看護学会 評議員
- 5) 平典子：日本がん看護学会 査読員
- 6) 平典子：日本がん看護学会国際活動委員会委員
- 7) 平典子；アジアがん看護協会 scientific committee member
- 8) 平典子；北海道医療大学看護福祉学部学会 理事長
- 9) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 評議員
- 10) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 専任査読委員
- 11) 花岡眞佐子：NPO日本コンチネンス協会 副会長
- 12) 花岡眞佐子：NPO日本コンチネンス協会 教育部排泄ケア専門員認定委員
- 13) 花岡眞佐子：北海道医療大学看護福祉学部学会 監査
- 14) 杉田久子：日本クリティカルケア看護学会 広報委員
- 15) 杉田久子：日本集中治療医学会 査読員
- 16) 杉田久子：平成26年度北海道看護研究学会 研究指導者
- 17) 杉田久子：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師，滝川市，2014，8. 2014，9.
- 18) 杉田久子：北海道医療大学看護福祉学部学会 第11回学術大会シンポジウム座長，札幌市，2014，9.
- 19) 明野伸次：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事
- 20) 明野伸次：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長
- 21) 福井純子：北海道臨床倫理研究会 幹事
- 22) 福井純子：日本看護管理学会例会in北海道 事務局，札幌市，2013，10.
- 23) 福井純子：「医療・介護従事者の死生学 2014年度春季セミナー：臨床倫理－考え方と事例検討」アドバイザー・ファシリテーター，東京大学本郷キャンパス，2014，4.
- 24) 福井純子：日本看護学教育学会第24回学術集会実行委員，2014，8.
- 25) 福井純子：第18回日本看護管理学会学術集会 一般演題査読委員，2014，5.
- 26) 福井純子：北海道看護協会認定看護管理者教育運営委員
- 27) 福井純子：北海道医療大学看護福祉学部学会第11回

地域保健看護学講座

(老年看護学)

教授：山田 律子
准教授：萩野 悦子
講師：内ヶ島伸也
助教：長瀬 亜岐

(地域在宅看護学)

准教授 工藤 禎子, 桑原 ゆみ, 竹生 礼子
助教 明野 聖子, 川添恵理子, 小原 瑞恵

(精神看護学)

准教授：八木こずえ
講師：笹木 弘美
助教：中安 隆志

(老年看護学)

(1) 著 書

- 1) 山田律子：口腔の緩和医療・緩和ケア, 永末書房 2013 (, 10).
- 2) 山田律子監修：DVD看護のための病態生理とアセスメント知覚・運動Vol.13高次脳機能障害, 医学映像教育センター, 2013 (, 11).
- 3) 山田律子：認知症ケア標準テキスト改訂4版認知症ケアの実際Ⅱ：各論, 医歯薬出版, 2013 (, 11)
- 4) 山田律子：系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学, 医学書院, 2014 (, 1)
- 5) 山田律子：認知症の人の生活行動を支える看護エビデンスに基づいた看護プロトコル, 医歯薬出版株式会社, 2014 (, 2)
- 6) 山田律子監修：DVD看護のための病態生理アセスメント栄養・代謝Vol.2悪心嘔吐, 医学映像教育センター, 2014 (, 6)
- 7) 山田律子：知っておきたい 認知症ケア最前線 理解と実践, ぱーそん書房, 2014 (, 6)
- 8) 山田律子：認知症の人の摂食障害 最短トラブルシューティング, 医歯薬出版株式会社, 2014 (, 9)
- 9) 萩野悦子：系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学, 医学書院, 2014 (, 1).
- 10) 萩野悦子：認知症の人の生活行動を支える看護エビデンスに基づいた看護プロトコル, 医歯薬出版株式会社, 2014 (, 2).
- 11) 長瀬亜岐：系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学, 医学書院, 2014 (, 1).

(2) 論 文

- 1) 萩野悦子, 山下いずみ, 西基：経尿道的前立腺切除術を受ける高齢者の手術後の苦痛と看護師による対応の効果, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌 10 (1), 29-38, 2014 (, 3).

(3) その他の論文

- 1) 山田律子：認知症の方へおいしく豊かな食事を, Meijiががんばる栄養士のための栄養ケア情報誌「おいしいね」, 169 (69) :1-2, 2013 (, 11).
- 2) 山田律子：認知症ケアの必読書・文献：6. 生活活支援技術, 認知症ケア事例ジャーナル, 7 (1) : 82-84, 2014 (, 6).
- 3) 畑中哲生, 金子洋, 長瀬亜岐, 丸川征四郎：AED適正配置の実態と理論的評価法に関する研究. 平成25年度厚生労働科学研究補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合事業 循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究 (H25-心筋一般-001) (研究代表者 坂本哲也).

(4) 学会発表

- 1) 田中裕子, 山田 律子, 池田和博, 他：介護老人保健施設に入所する高齢有歯顎者の口腔内状態と口腔セルフケア, 日本老年歯科医学学会第25回学術大会, 福岡, 2014 (, 6).
- 2) 大久保抄織, 山田律子, 萩野悦子：認知症終末期にある高齢者の身体変化と食事支援, 日本老年看護学会第19回学術集会, 2014 (, 6).
- 3) 井出訓, 戸ヶ里泰典, 内ヶ島伸也：認知症の人を介護する家族のプラス感情と介護環境との関係性, 第15回日本認知症ケア学会大会, 東京, 2014 (, 5).
- 4) 畑中哲生, 金子洋, 長瀬亜岐, 坂本哲也, 丸川征四郎：医療経済から見たAEDの効果, 第41回日本救急医学会学術集会, 東京, 2013, 10.
- 5) Nagase A, Hatanaka T, Kaneko H, Sakamoto T, Marukawa S.:Incremental Cost-Effectiveness Ratio of the Nationwide Public AccessDefibrillation Program in Japan, European Resuscitation Council congress, Krakow, 2013, October.
- 6) Kaneko H, Hatanaka T, Nagase A, Sakamoto T, Marukawa S:Facility-specific Numbers Needed to Visit for an On-site AED to be Cost-effective. European Resuscitation Council congress, Krakow, 2013, October.

(5) 講 演

- 1) 山田律子：第2回そらち食支援隊研修会「実践に役

- 立つ！認知症の人への食事支援～脳機能を踏まえて」，岩見沢市，2013（，11）。
- 2) 山田律子：大牟田市介護サービス事業者協会研修会「認知症の人の摂食・嚥下のケア」，大牟田市，2013（，12）。
 - 3) 山田律子：相模原市高齢者福祉施設協議会研修会「認知症の人が最後まで美味しく食べるための支援」，相模原市，2013（，12）。
 - 4) 山田律子：第3回認知症の人の食支援研究会，教育講演「認知症高齢者の食の支援—認知症の原因疾患や重症度を踏まえて」，横浜市，2013（，12）。
 - 5) 山田律子：（社）日本認知症ケア学会生涯学習委員会北海道地域部会，共催（社）北海道介護福祉会，招聘講演「認知症の原因疾患別にみた摂食・咀嚼・嚥下の特徴と食事支援」，札幌市，2013（，12）。
 - 6) 山田律子：拓北あいの里ケア施設町内会，月例研修会「認知症の人の食べる喜びを支えるために」，札幌市，2014（，2）。
 - 7) 山田律子：グループホーム事業者交流会研修会「認知症の人の食事支援」，広島市，2014（，3）。
 - 8) 山田律子：沖縄静脈経腸栄養研究会，第9回沖縄NSTフォーラム，特別講演「認知症の原因疾患を踏まえた摂食・嚥下障害の特徴と食事支援」，沖縄県浦添市，2014（，3）。
 - 9) 山田律子：市立千歳市民病院研修会「認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴と食事支援—加齢変化と脳機能を踏まえて」，千歳市，2014（，3）。
 - 10) 山田律子：山陰認知症ケア研究会，招聘講演「認知症の原因疾患を踏まえた摂食・咀嚼・嚥下障害の特徴と食事支援」，鳥取市，2014（，6）。
 - 11) 山田律子：北海道社会福祉協議会，介護職員専門研修Ⅱ，講義3「摂食嚥下障害のある認知症高齢者の食事ケア」，札幌市，旭川市，2014（，8・10）。
 - 12) 山田律子：第3回高齢者の終末期医療を考える会，特別講演「最期まで認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」，札幌市，2014（，8）。
 - 13) 山田律子：第21回日本介護福祉教育学会，教育講演「認知症の人の尊厳ある食事を支援するために」，札幌市，2014（，8）。
 - 14) 山田律子：福祉・介護人材確保対策関連事業 キャリアパス支援研修，「認知症の人の嚥下について」，札幌市，2014（，9）。
 - 15) 山田律子：日総研グループ公開研修会，「実技・動画で学ぶ 認知症高齢者の食べる力を引き出す支援策」，釧路市，2014（9）。
 - 16) 山田律子：北海道看護協会十勝支部担当研修会「認知症看護—最後まで食べる楽しみを支援するため」，帯広市，2014（，10）。
 - 17) 萩野悦子：札幌市豊平区創造学園（高齢者大学）「良い眠りで元気な毎日を過ごす」，札幌市，2013（，10）。
 - 18) 内ヶ島伸也：札幌市豊平区創造学園（高齢者大学）「認知症を知ろう・考えよう」，札幌市，2014（，5）。
 - 19) 内ヶ島伸也：北海道看護教員養成講習会「研究方法（全3回）」，札幌市，2014（，6）。
- (6) 社会活動
- 1) 山田律子：一般社団法人日本看護研究学会 理事（会計担当）・査読委員・学術集会抄録査読
 - 2) 山田律子：一般社団法人日本認知症ケア学会 理事・編集委員会副委員長・大会抄録査読・座長，地域大会実行委員・認知症ケア専門士認定試験委員・北海道地域部会委員
 - 3) 山田律子：日本老年看護学会 理事（会計担当）・査読委員
 - 4) 山田律子：公益社団法人日本看護科学学会 評議員（社員）・学術集会抄録査読
 - 5) 山田律子：一般社団法人日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員・査読委員・学術集会抄録査読・論文表彰選考委員，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士試験問題作成委員
 - 6) 山田律子：特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
 - 7) 山田律子：一般社団法人日本老年歯科医学会 査読委員
 - 8) 山田律子：高齢者の終末期医療を考える会 世話人
 - 9) 山田律子：北海道臨床倫理研究会 幹事。
 - 10) 山田律子：専門看護師教育課程認定委員会（老人看護専門分科会）委員
 - 11) 山田律子：鼎談「認知症の人を支える社会作りを目指して」，読売新聞，2014年9月21日朝刊。
 - 12) 萩野悦子・山田律子：高齢者医療「認知症患者の“食べる”を支える」，NHK総合テレビ「ネットワークニュース北海道」2013年12月13日放送，NHKおはよう日本，2014年1月18日放送。
 - 13) 萩野悦子：一般社団法人日本認知症ケア学会 代議員・査読委員・認知症ケア上級専門士認定委員・認知症ケア専門士認定委員・将来構想・あり方委員・日本認知症ケア学会誌査読委員・認知症ケア事例ジャーナル査読委員・第16回日本認知症ケア学会大会事務局長および実行員会委員長
 - 14) 萩野悦子：日本老年看護学会 生涯学習支援委員・査読委員
 - 15) 内ヶ島伸也：NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事

- 16) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護福祉学部学会 編集委員
- 17) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長
- 18) 内ヶ島伸也：北海道臨床倫理研究会 幹事
- 19) 内ヶ島伸也：一般社団法人日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士認定試験委員・認知症ケア事例ジャーナル査読委員
- 20) 内ヶ島伸也：平成26年度当別町地域ブランド開発推進委員会 委員
- 21) 内ヶ島伸也：平成25年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川市，2013（，10）.
- 22) 内ヶ島伸也：平成26年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川市，2014（，8-9）.
- 23) 内ヶ島伸也：医療法人札幌西円山病院看護研究支援，札幌市，2013-2014.
- 24) 長瀬亜岐：平成26年度北海道DMAT実働訓練コントローラー（9月26日～27日）

（地域在宅看護学）

（1）著 書

- 1) 工藤禎子：地域包括ケア，標準保健師講座③対象別公衆衛生看護活動，297-314，医学書院，2014年1月.
- 2) 工藤禎子：第7章，生活・療養の場における看護の展開，介護予防と看護，336-340，介護を必要とする高齢者を含む家族への看護，360-369，医学書院系統看護学講座，専門分野Ⅱ，老年看護学，医学書院，2014年1月.
- 3) 工藤禎子：保健師国家試験模擬問題，高齢者保健，2015年版保健師国家試験問題，解答と解説，医学書院，2014年4月.
- 4) 竹生礼子：第7章 生活・療養の場における看護の展開 A在宅高齢者への看護 ②介護・医療ニーズの高い在宅高齢者への看護、③高齢者を包括的・継続的に支援する活動，北川公子（著者代表）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学，336-346，医学書院，2014年，1. 月

（2）論 文

- 1) Y.KUDO, K.Saeki: Reasons for the Creation of New Social Networks by the Elderly after Relocation, Health, 5 (12A), 31-38, 2013, 12.
- 2) 工藤禎子：都市部の独居高齢者における危機管理としての近隣との交流，北海道大学大学院保健科学院 平成25年度博士論文，平成26年3月
- 3) 太田眞智子，工藤禎子：北海道の訪問看護師の「在宅における看護実践自己評価」とその関連要因，日

本在宅ケア学会誌，18（1），60-67，2014，9.

- 4) 桑原ゆみ：成人期健康診査受診者におけるトランスセオレティカル・モデルの検討，北海道医療大学看護福祉学部紀要，20，53-61
- 5) 桑原ゆみ：生活習慣病予防を目的とした健診の不定期受診者に対する定期受診への支援と効果，千葉大学大学院看護学研究科平成25年度博士論文，2014年3月
- 6) 西村歌織・川村三希子・竹生礼子・木村公美：早期食道がん患者が食道全的術・胸壁後縦横術後に受ける生活への影響と対処，日本がん看護学会誌，27（2），65-73，2013.
- 7) 竹生礼子：地域住民が在宅のがん療養者の生活支援に参加する上で重要となる要素（第1報）-在宅ホスピスボランティア活動の実践例調査より，北海道医療大学看護福祉学部紀要，20，63-71，2013.
- 8) 竹生礼子：地域住民が在宅のがん療養者の生活支援に参加する上で重要となる要素（第2報）-全国の在宅ホスピスボランティア養成講習内容の調査より，20，91-98，2013.
- 10) スーディ神崎和代・北海道ホームヘルスケア研究会（3HR）他：情報交換会 市民・看取りを経験した家族・専門職の連携で在宅での看取りを叶えるために，完了報告書.

（4）学会発表

- 1) 工藤禎子：北海道の市町村で働く中堅期保健師のワーク・ライフ・バランスへの認識と関連要因 共著 平成25年11月 第65回北海道公衆衛生学会（札幌市）

（5）講 演

- 1) 工藤禎子：保健師基礎教育のカリキュラム改正と実習，江別保健所管内保健師研修会，2014年5月26日
- 2) 桑原ゆみ：特定健康診査を活用した健康づくり，石狩振興局管内市町村国民健康保険運営協議会委員研修会，2013年12月2日
- 3) 桑原ゆみ：研究過程の概観と研究計画書の作成，北海道看護協会北空知支部 看護研究学習会，2014年8月8日
- 4) 竹生礼子：高齢者サロン「ななかまど」健康講話，「転倒予防～ふまねっと」2014年2月20日，「訪問看護の歴史」2014年6月19日，札幌市.
- 5) 竹生礼子：当別町民生児童委員連絡協議会研修会，「病気になっても住み慣れた自宅で暮らす～在宅看護と町民の力～」2014年7月17日
- 6) 竹生礼子：北海道医療大学セミナーⅢちょっと役立つ看護の知恵第4回「人生の終焉を病気と共に生き

きる～自分と家族のために必要なこと～」2013年12月14日

- 7) 竹生礼子：北海道医療大学セミナーⅢちょっと役立つ看護の知恵第5回 「在宅の看取りについて～自分と家族のために必要なこと～」2013年12月21日
- 8) 竹生礼子：北海道医療大学・滝川市包括連携事業「地域ケア会議とは」、2014年9月29日
- 9) 明野聖子：当別町ファミリー・サポート・システム、スキルアップ講座「心身の発達とその問題」、2014年3月20日
- 10) 川添恵理子：介護保険下の地域生活支援・地域生活者の実態と生活者が望むサービス、北海道作業療法士会研修会講師、2013年11月23日
- 11) 川添恵理子：平成26年度地域ケアサービス連携推進事業地域在宅医療推進講座講師、北海道根室振興局保健環境部中標津地域保健所、2014年9月13日
- 12) 川添恵理子：平成26年度公益社団法人北海道看護協会会員懇談会・在宅ケアの推進に受けた看護の連携講師、北海道看護協会4支部合同、2014年9月20日
- 13) 川添恵理子：平成26年度公益社団法人北海道看護協会札幌第1支部看護職職能講演会・いま求められる在宅移行支援、2014年9月27日

(6) 社会活動

- 1) 工藤禎子：日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、日本老年社会学会、日本公衆衛生学会 査読委員
- 2) 工藤禎子：日本在宅ケア学会、日本老年看護学会 評議員
- 3) 工藤禎子：日本地域看護学会、北海道公衆衛生学会 編集委員
- 4) 桑原ゆみ：日本糖尿病教育・看護学会 査読委員
- 5) 桑原ゆみ：日本看護研究学会 評議員
- 6) 桑原ゆみ：日本看護研究学会 北海道地方会 役員
- 7) 桑原ゆみ：第18回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 一般演題査読委員
- 8) 桑原ゆみ：北海道看護協会 学会委員
- 9) 桑原ゆみ：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師、2013年10月11日
- 10) 桑原ゆみ：北海道国民健康保険運営協議会会長連絡協議会 役員
- 11) 桑原ゆみ：当別町健康プラン21検討委員会 副会長
- 12) 桑原ゆみ：当別町国保運営協議会 会長
- 13) 竹生礼子：北海道社会福祉施設整備選定に関する有識者会議 委員
- 14) 竹生礼子：当別町地域包括支援センター運営協議会 委員長

- 15) 竹生礼子：当別町地域ケア会議 介護予防部会会員
- 16) 竹生礼子：在宅ホスピスボランティアを広める会in札幌 世話人
- 17) 竹生礼子：第1回在宅ホスピスボランティア養成講習 企画・運営・講師、2013年10月～11月
- 18) 竹生礼子：北海道ホームヘルスケア研究会 世話人
- 19) 川添恵理子：北海道地域看護連携研究会 世話人
- 20) 川添恵理子：明日の在宅療養を考える会 世話人

(精神看護学)

(4) 学会発表

- 1) 山崎さやか、上山ルミ子、浮田志保、八木こずえ、中島公博、ストレスケア病棟における看護チームケアに認知行動療法を取り入れた実践、第2回日本精神科医学会学術集会、2013、11.
- 2) 鈴木大輔、鈴木美伸、吉野賀寿美、八木こずえ、中島公博、短期間で急性期病等への入退院を繰り返した衝動性の高い患者の看護、第22回日本精神科救急学会学術集会、2014、9.

(5) 講演

- 1) 八木こずえ：看護職のためのラインケア、市立札幌病院看護部研修、2014、8.
- 2) 八木こずえ：精神症状のある在宅療養者の看護～病院の視点から～、北海道看護協会 訪問看護師養成講習会 2014、9.
- 3) 中安隆志：「これからの看護基礎教育に求めること」川崎医療福祉大学保健看護学科 学科開設20周年記念行事、岡山、2014、5.

(6) 社会的活動

- 1) 中安隆志：日本精神科看護技術協会北海道支部看護研究発表会 講評、札幌、2013、10.

母子看護学講座

教授：三国 久美

准教授：伊藤 道子

講師：遠藤紀美恵、木浪智佳子、加藤 依子

助教：川崎ゆかり、渋谷 雅美

(1) 著者

- 1) 加藤依子：活動制限に対する倫理の考え方、清水哲郎（監修）、教育・事例検討・研究に役立つ 看護倫理 実践事例46、日総研、308-313、2014、6.

(2) 論文

- 1) 川合美奈, 三国久美, 木浪智佳子, 畑江郁子: 父親の育児参加を促すNICUスタッフの取り組みの実態, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 10, 23-28, 2014, 3.

(3) その他の論文

- 1) 川合美奈, 三国久美, 木浪智佳子, 川崎ゆかり: 育児に関するネガティブな感情をもつ父親に対するNICUスタッフの関わり, 北海道医療大学看護福祉学部紀要20, 29-35, 2014, 12.

(4) 学会発表

- 1) 澤田優美, 三国久美, 木浪智佳子, 川崎ゆかり, 斉藤早香枝, 草薙美穂, 廣瀬たい子: 2歳児をもつ働く母親のワークライフバランスとその関連要因, 第65回北海道公衆衛生学会, 2013, 11.
- 2) Satoshi Yago, Taiko Hirose, Motoko Okamitsu, Michie Nagayoshi, Taeko Teramoto, Kumi Mikuni, Afsaneh Eslami Katsuko Tanaka: NCAST training in JAPAN: Concurrent training achievements and challenges for the future, NCAST Institute Seattle USA, 2014, 5.
- 3) Taiko Hirose, Motoko Okamitsu, Noriko Okubo, Kumi Mikuni, Yasuko Saito, Yoshie Hamano et al.: A preliminary parenting support project based on EEPP in Japan: A training program for nurses, The 14th World Congress of the World Association for Infant Mental Health, Edinburgh UK, 2014, 6.
- 4) 加藤康子, 伊藤道子: 里帰り分娩をする女性に対する市町村保健師の支援の実態, 第65回北海道公衆衛生学会, 2013, 11.
- 5) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: 産後のコンディショニングが子育てに及ぼす影響及びコンディショニングケアガイドラインの提案, 日本母性衛生学会, 2013, 10. 4. 大宮
- 6) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: 産後のコンディショニングケア活動による心身への影響及びケア継続性の実態調査に関して, 北海道母性衛生学会, 2014, 9. 21. 札幌

(5) 講演

- 1) 加藤依子: 小児の発達段階とプレパレーション研修会, 北海道看護協会, 札幌, 2014, 1.

(6) 社会活動

- 1) 三国久美: 乳幼児保健学会, 理事
- 2) 三国久美: 日本看護研究学会, 評議員

- 3) 三国久美: 日本看護科学学会, 代議員

- 4) 三国久美, 伊藤道子: 北海道公衆衛生学会評議員

- 5) 三国久美: 北海道公衆衛生学会編集委員

- 6) 三国久美, 遠藤紀美恵: 平成25年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師

- 7) 三国久美: 平成25・26年度北海道社会保険病院「看護係長研修」講師

- 8) 木浪智佳子: 平成26年度北海道済生会西小樽病院「看護管理者研修」講師

- 9) 加藤依子: 小児・周産期ケア検討会 小児の虐待企画運営, 札幌, 2013, 11.

- 10) 加藤依子: 小児・周産期ケア検討会 小児の事故防止 企画運営, 札幌, 2014, 7.

- 11) 加藤依子: 小児看護専門看護師事例検討会 平成26年 東日本地区事務局

- 12) 加藤依子: KKR札幌医療センター 平成26年 看護研究支援

- 13) 伊藤道子: 北海道母性衛生学会幹事総務

- 14) 伊藤道子: 北海道看護協会学会委員会

- 15) 遠藤紀美恵: 北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」, 企画・運営および保健相談員, 2013, 10. 札幌市

- 16) 遠藤紀美恵: 北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」, 企画・運営および保健相談員, 2014, 6, 7. 札幌市

- 17) 遠藤紀美恵, 渋谷雅美: 北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」, 企画・運営および保健相談員, 2014, 9. 札幌市

- 18) 遠藤紀美恵: 看予備「看護・医療系 受験説明会」, 講師 2014, 6. 北見

- 19) 遠藤紀美恵: 北海道苫小牧南高校「大学出前講義」講師 2014, 7. 苫小牧

成人看護学講座

教授: 野川 道子

准教授: 佐々木栄子

講師: 唐津 ふさ, 西村 歌織, 神田 直樹

助教: 高木 由希, 大場 由子, 伊藤加奈子

(1) 著書

- 1) 佐々木栄子: 第5章Ⅱ. 音楽の力と看護, 日野原重明監修, 音楽療法ハンドブック 看護と福祉領域のための, 星雲社, 69-76, 2013, 7.

(2) 論文

- 1) 中井夏子, 門間正子, 神田直樹, 皆川ゆり子, 田口裕紀子, 城丸瑞恵: クリティカルケア看護領域に勤務する看護師の職業的成熟度に関する実態調査 職業キャリア成熟尺度と個人的背景、認定看護師・専門看護師に対する関心との比較, 日本臨床救急医学会雑誌, 16 (6), 831-838, 2013.
- 2) 皆川ゆり子, 神田直樹, 門間正子, 中井夏子, 田口裕紀子, 城丸瑞恵: クリティカルケア看護領域に従事する看護師のキャリア発達に関する実態調査 認定看護師、専門看護師、修士・博士に対する認識と資格および学位取得に必要と考える事項および情報源, 札幌保健科学雑誌 3 号, 51-58, 2014.

(3) その他論文

- 1) 野川道子: 特集: 第7回日本慢性看護学会学実集会記録1, 慢性看護における高度実践看護師教育プログラム (シンポジウム I より) まとめ, 日本慢性看護学会誌, 7 (2), 69, 2013 (, 5).

(4) 学会発表

- 1) 渡辺美和, 野川道子: オストメイトの病気の不確かさの術後年数による変化, 第8回日本慢性看護学会学術集会, 久留米, 2014. 7. (日本慢性看護学会誌, 8 (1), p. A101, 2014).
- 2) 平典子, 唐津ふさ, 田中いずみ, 鳴井ひろみ: 外来がん化学療法を受けるがん患者の家族に対するグループ支援プログラムの検討, 第28回日本がん看護学会, 新潟, 2014. 2
- 3) Noriko Hira, Fusa Karatsu, Izumi Tanaka, Hiromi Narui: Study on the Helpfulness of Support Groups for the Families of Outpatients Undergoing Cancer Treatment, International MASCC/ISOO symposium, Miami, 2014. 6
- 4) 西村 歌織: 社会生活を送るがんサバイバーが認識する社会的排除の実態調査, 第28回日本がん看護学会学術集会, 2014 (, 02)
- 5) 井出 訓, 川村三希子, 竹生礼子, 西村歌織, 木村公美: 療養病床における認知症とがんを併せ持つ高齢患者の看護に関する困難度, 日本老年看護学会第19回学術集会, 2014 (, 06)
- 6) Kawamura M, Ide S, Kimura K, Takeu R, Nishimura K: Some Issues with cancer patients with dementia on the palliative care unit special nursing homes for the elderly in Japan, 8th World Research Congress of the European Association for Palliative Care, 2014 (, 06)
- 7) 竹田祥子, 白綾優実, 東浜子, 神田直樹, 松浦厚子,

香西慰枝: クリティカルケア看護領域で使用可能なクオリティーインディケーターの検討 第1報 評価指標項目の検討, 第41回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2014.

- 8) 白綾優実, 竹田祥子, 東浜子, 神田直樹, 松浦厚子, 香西慰枝: クリティカルケア看護領域で使用可能なクオリティーインディケーターの検討 第2報 修正版QIの有用性の検討, 第41回日本集中治療医学会学術集会, 京都, 2014.
- 9) 皆川ゆり子, 中井夏子, 門間正子, 神田直樹: クリティカルケア看護領域に勤務する看護師の職業成熟度の実態および所在地域による比較, 第10回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 愛知, 2014.

(5) 講演

- 1) 野川道子: 日本看護研究学会北海道地方会特別講演会「病院・地域を元気にする新しい看護師の登場ー特定行為に係る看護師の研修制度 (案) から読み解くー」, 札幌, 2014. 2.

(6) 社会的活動

- 1) 野川道子: 第8回日本慢性看護学会学術集会シンポジウム II (EBP: エビデンスに基づく実践-2) の座長, 2014. 7.
- 2) 野川道子: 日本慢性看護学会 副理事長
- 3) 野川道子: 日本NP教育大学院協議会 理事
- 4) 野川道子: 日本看護科学学会 代議員 和文誌専任査読委員
- 5) 野川道子: 日本難病学会誌 査読員
- 6) 野川道子: 日本看護研究学会 評議員
- 7) 野川道子: 日本がん看護学会 評議員・代議員
- 8) 野川道子: 日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程慢性看護専門分科会 副委員長
- 9) 野川道子: 日本看護系大学協議会 高度実践看護師制度推進委員会 委員
- 10) 野川道子: 日本看護協会 専門看護師制度委員会 委員長
- 11) 野川道子: 北海道社会福祉審議委員会 委員
- 12) 佐々木栄子: 日本難病看護学会 理事
- 13) 佐々木栄子: 日本慢性看護学会 評議員
- 14) 佐々木栄子: 北祐会神経内科病院「看護研究」指導
- 15) 唐津ふさ: 日本慢性看護学会 評議員
- 16) 西村歌織: NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営
- 17) 神田直樹: 日本集中治療医学会看護部会北海道地区委員

- 18) 神田直樹：日本集中治療医学会集中治療看護師検討委員会 委員
- 19) 神田直樹：日総研出版セミナー 看護倫理 現場での教え方・根付かせ方，講師，帯広，2014，6．
- 20) 神田直樹：北海道大野病院看護師研修会「専門職業人としての倫理」，講師，2014，7．
- 21) 神田直樹：市立函館病院看護部「看護倫理研修会」，講師，2014，8．
- 22) 神田直樹：札幌医科大学附属病院副看護師長研修会「看護研究のクリティックに必要な知識」，講師および助言，2014，8．

臨床看護学講座

教 授：塚本 容子
講 師：高橋 久江，長谷 佳子
助 教：兼平 奈美

(2) 論 文

- 1) 本城綾子，竹川幸恵，藤原由子，伊藤史，長谷佳子，土居洋子：慢性疾患看護専門看護師による「慢性呼吸器疾患患者」のケアプロトコル－在宅酸素療法患者の酸素流量調整－，日本慢性看護学会誌，7（2），43-50，2013．

(3) その他の論文

- 1) 塚本容子：【初期トリアージからドクターコールまで！身体症状のアセスメント&看護対応】情報共有のポイントと臨床で役立つ知恵，達人ナース：経験知の伝授誌，34（2），42-44，2013
- 2) 塚本容子：【初期トリアージからドクターコールまで！身体症状のアセスメント&看護対応】発熱，達人ナース：経験知の伝授誌，34（2），37-41，2013
- 3) 塚本容子：【初期トリアージからドクターコールまで！身体症状のアセスメント&看護対応】倦怠感，達人ナース：経験知の伝授誌，34（2），32-36，2013
- 4) 塚本容子：【初期トリアージからドクターコールまで！身体症状のアセスメント&看護対応】腹痛，達人ナース：経験知の伝授誌，34（2），23-31，2013
- 5) 塚本容子：【初期トリアージからドクターコールまで！身体症状のアセスメント&看護対応】患者急変時の基礎知識，達人ナース：経験知の伝授誌，34（2），2-5，2013
- 6) 塚本容子：Wの悲劇 私たちは歴史から何を学ぶことができるのか 感染予防・管理におけるリーダーシップと患者の人権，日本環境感染学会誌，28

(Suppl)，page 127，2013

- 7) 塚本容子：慢性看護における看護職の役割の拡大プライマリ・ケアにおける高度実践看護師の役割開発，日本慢性看護学会誌，7（1），24-28，2013
- 8) 塚本容子：慢性看護における高度実践看護師教育プログラム 高度実践看護師教育を支える教育モデル（A Model of Knowledge Integration）と教育の実際，日本慢性看護学会誌，7（1），page 53，2013
- 9) 塚本容子：エビデンスに基づいた実践のためのケーススタディ 嗚呼、世の中何が正しいのかわからない～医療従事者の心の叫び，日本環境感染学会誌，29（suppl），page 246，2014
- 10) 塚本容子，澤谷啓行，原理加：ニードルレスコネクター別によるカテーテルの逆流量 血流感染予防への示唆，日本環境感染学会誌，29（suppl），page 368，2014
- 11) 塚本容子：慢性看護における高度実践看護師教育プログラム】プライマリ・ケアにおける高度実践看護師の教育，日本慢性看護学会誌，7（2），66-68，2013

(4) 学会発表

- 1) 伊藤史，本城綾子，長谷佳子，藤原由子，竹川幸恵，土居洋子：慢性疾患看護専門看護師によるケアプロトコルの作成－在宅酸素療法施行中の慢性呼吸器疾患患者の排便調節・緩下剤使用－，第23回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，東京，2013（10月）．
- 2) 藤原由子，本城綾子，長谷佳子，伊藤史，竹川幸恵，土居洋子：慢性疾患看護専門看護師による「慢性呼吸器疾患」へのケアプロトコルの作成－気管支喘息患者の療養管理におけるスクリーニング－，第23回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，東京，2013（10月）．
- 3) 野川道子，本庄恵子，東めぐみ，長谷佳子：慢性看護のコア・コンセプト，第8回日本慢性看護学会学術集会，久留米，2014（7月）．
- 4) 伊藤史，本城綾子，竹川幸恵，藤原由子，長谷佳子，土居洋子：CNSによるケアプロトコルの作成－慢性呼吸器疾患患者の栄養状態の評価と指導－，第8回日本慢性看護学会学術集会，久留米，2014（7月）．
- 5) Nami Kanehira: Pain Assessment Conducted by Nurses for Cancer Patients with Dementia, Asian Oncology Nursing Society Conference, Thailand, 2013（11月）．
- 6) 兼平奈美，平典子：外来治療中のがん患者と暮らす家族に対する支援プログラム試案－サブストラクション法を用いて－，第11回北海道医療大学看護福

祉学部学会, 札幌, 2014 (, 9月).

(5) 講演

- 1) 長谷佳子: 北海道看護協会主催「呼吸不全患者の看護－学んで, 実践, 現場でいかせる呼吸ケア－研修会」講師, 札幌, 2013 (, 12月).

(6) 社会活動

- 1) 塚本容子: International Council of Nursing, HIV-AIDS Network Advisory.
- 2) Yoko Tsukamoto: UNAIDS, Asia Pacific Region Consultant.
- 3) Yoko Tsukamoto: The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
- 4) 塚本容子: 戦略的大学連携支援事業連絡調整会議構成員およびワーキンググループメンバー.
- 5) 塚本容子: 日本NP協議会メンバー.

- 6) 塚本容子: 環境感染学会, 国際委員会, 副委員長
- 7) 長谷佳子: 日本慢性看護学会 評議員.
- 8) 長谷佳子: 日本慢性看護学会 慢性看護あり方検討会ワーキンググループ委員.
- 9) 長谷佳子: 日本慢性看護学会 編集委員.
- 10) 長谷佳子: 慢性疾患看護専門看護師研究会 会長.
- 11) 長谷佳子: 北海道医療大学病院看護部学習会講師.
- 12) 長谷佳子: 日本看護協会 認定看護師委員会 慢性呼吸器疾患看護分野委員 2011. 11～2013. 10.
- 13) 北海道低肺の会 患者交流会アドバイザー, 2014. 9. 10.
- 14) 兼平奈美: 「緩和ケア」ってどんなケア?. 北海道医療大学セミナー I. 平成25年度生涯学習事業, 2013 (, 10月).
- 15) 兼平奈美: がんプロフェッショナル養成プランがん看護インテンシブコース担当者.